

夏休みスペシャルイベント

国際原子力機関（IAEA）は 除染で出た土の対応をどう捉えているか？ 環境省職員が解説！

現在、環境省では、福島第一原子力発電所事故後、福島県内の除染により生じた土壌の再生利用、県外最終処分のための取組を行っています。

この取組について、世界の原子力の平和利用や安全規制に係る国際機関である「国際原子力機関（IAEA）」は、グローバルスタンダードから見て、どのように捉えているのでしょうか。



IAEAとの会議に実際に参加した環境省の職員等から、国際的な議論の様子を説明してもらいます。

なお、**会場参加の方限定で、ディスカッションの機会も設けられています。**

ご参加を希望される方は、**8月9日（金）までに以下のQRコードから参加登録をお願いいたします！**

参加登録はこちらから↓

日時

2024年9月12日（木） 10:15～11:45

場所

福島大学 経済経営学類大会議室（予定）

*なおオンライン参加も可能（Zoom）



英語と日本語で

IAEAとの国際会議に
参加した環境省職員
から解説します！

※本会は、9月18日～22日に開催される「除染土処分に関する学生ワークショップ」の事前講義として実施しますが、全ての学生が参加できます。

共催：除染土処分に関する学生ワークショップ実行委員会（事務局：福島大学環境経済学研究室）
環境省 環境再生・資源循環局（予定）